

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 26 年 9 月 2 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3472700297		
法人名	医療法人みやうち		
事業所名	グループホームひまわり		
所在地	廿日市市宮内字佐原田4207番地の4 (電話) 0829-38-0793		
自己評価作成日	平成26年7月31日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2013_022_kani=true&JigyosyoCd=3472700297-00&PrefCd=34&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成26年8月28日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

ADLの低下も伴い役割が減ってきている現状の中、一日一日を楽しく過ごして頂こうと日々笑顔
を絶やさず暮らして頂こうと支援しています。家族会による家族間で支え合える関係を継続し、
これからもご家族とのコミュニケーションを重視し、ご本人の想いに添えるよう、援助計画に取
り組んで行きます。私達職員にとってご家族の協力や支えが大きな力となっています。ターミナ
ルケアにおいても法人グループとの連携による取り組みを継続し「安心できる場所」であり続け
たいと思います。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

当事業所は、2階建て2ユニットの建物で、共用部分は利用者・職員共に動き易くゆったりと
寛げる十分なスペースが確保され、各個室には洗面所・クローゼットが配置される等の利便性と
快適性を備えた造りとなっている。又、事業所の特性として以下の3点が際立っている。
①多数のご家族が深い関心と参加・協力意識を持たれ職員の方との一致協力体制が出来ている。
②法人母体を中心とした強力な相互支援体制は、安心して全てを委ねる事が出来る。
③様々な経験と一歩先を見据えた先見性を兼ね備え、慈愛に満ちた指導は、職員からの信頼も厚
く、ホーム長を中心に職員間に伺える信頼と共助の精神が、利用者の柔和な表情に繋がってい
る。

自己 評価	外部 評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容	
I 理念に基づく運営						
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	毎朝全員で理念を唱和・共有し日々一人ひとりに添った援助を行い、安心して頂くよう努めている。	全職員の話し合いにより作成した事業所理念を掲げ、毎日唱和する事で徹底を図ると共に、理念に基づいた年度事業所目標と個人目標を定めて、その進捗状況を検証し理念が実践に活かされるように努められている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域の方のボランティアの方の訪問や法人の健康フェアで地域の方の交流や、近くの美容院に出掛ける等、なじみの関係が出来ている。	事業所周辺に民家が殆どなく、日常生活上での交流が限定的なので、同一敷地内の医療・福祉関連事業所の利用者や法人主催の「健康フェア」の参加者との交流が地域とのつきあいとなっている。又、町内会役員や役員の方々から得られる町内情報を通じて交流の場と機会の拡充を模索されている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	運営推進会議を通し支援の方法を伝える。また定期的なホームの新聞を併設病院の外來に置かせて頂き地域の方へ支援等伝えている。			
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	多くの家族を含め、取組み状況等を報告し、会議での意見を全職員に伝え、カンファレンスにて話し合い向上に活かしている。	定期的開催される運営推進会議には、行政・利用者家族・職員の参加を得て事業所の状況報告や活発な意見交換がなされ事業所運営に活かされている。数多くの家族の参加は事業所の特質であるが、今後の課題として地域住民の参加促進を図るよう取り組まれている。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	運営推進会議に毎回参加して頂き、情報交換を行い協力関係を築いている。	市町担当者及び地域包括支援センターの方々とは相互に行き来があり、親密な交流が為され、良好な連携・協力関係が出来上がっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>法人内の研修やホーム内で勉強会を行っている。玄関は施錠せず出入りできるよう、身体拘束しないケアに取り組んでいる。</p>	<p>社内及び外部研修会、職員会議を通じて、「身体拘束をしないケア」の周知徹底を図ると共に、日々のケアに於いて利用者に対する否定や抑止に該当する事例を話し合い、最善の対処方法を職員間で検討されている。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>法人内の研修やホーム内の勉強会を行い防止に取り組んでいる。</p>			
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>必要時相談員との連携により支援を行うようにしている。（現在1名相談を受けている）</p>			
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>ホーム長・相談員より十分な説明を行っている。ミニ家族会の際、改定等や再度、契約・解約に関する説明も行い理解を得るように取り組んでいる。</p>			
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>苦情箱設置や法人よりアンケートの実施、ミニ家族会や運営推進会議で意見要望を話せる場を設け、それをもとに話し合いをしている。</p>	<p>事業所開所時から築きあげられた、積極的な家族の事業所運営への参加の風土により、家族からの諸提案が事業所運営の随所に活かされている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	カンファレンスや職員会議で話し合いの場を設けている。	管理者は、常に聞く耳を持ち指示・通達をするのではなくて、職員各位が率直に意見や要望を言える職場内環境作りに配慮されている。又、職員からの意見・情報は的確に上層部に報告し、迅速な結論が示される事で、職員のモチベーションの向上と連帯意識に繋がっている。	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	人事考課による給与体制となっており個々の努力や実績が反映されている。法人内で職員へのアンケートも実施されている。		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	法人内での研修報告やホーム内で勉強会、カンファレンスで報告が来ている。		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	親睦会等で他部署との交流を図り、定期的なホーム長会議で他グループホームの情報交換を行っている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	入居前御本人の住んでおられる場所に面会し、状況把握し、御本人や御家族にお話を聴き、ケアプラン作成し安心して頂けるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>入居前面談をしてご本人ご家族の要望を聴きしっかり受け止め、入居されてからは、2ヶ月に1回ミニ家族会で確認し合い信頼関係を築いている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>入居前の面談での要望を考慮にご本人ご家族が現在何を必要とされているのかを考え入居時に暫定プランを作成しサービスに努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>食事・散歩・外出を一緒に楽しみまたテレビを見ながら会話をしたりと入居様同士での関係を大切に見守っている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>面会時やサービス担当者会議ではご本人ご家族の思いをいい合える関係を築いている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>知人との面会や馴染みの理髪店の利用できるよう支援している。以前行っておられた公園などドライブで行くこともある。</p>	<p>従来から行きつけのお店（理・美容院や食堂等）に出かけたり、友人・知人の来訪や同一敷地内のディサービス、病院を利用されている方々との出会い等を通じて、旧来の人や場所との関係が途切れないよう支援されている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	玄関先のベンチで日向ぼっこ共にされ会話を楽しまれたり、居間では歌や体操を一緒に出来る等支援している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退去後、ご家族のボランティアの訪問やミニ家族会で体験談を話して頂いている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いやりや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日頃の会話より御本人の思いや希望を把握するようにしているが、思いが伝えられない方にはご家族と共に検討している。	日々の会話や家族との綿密な打ち合わせにより、利用者の好みや生活歴を把握し、アセスメントシートに詳細な情報が記録されている。その情報を参考にしながら利用者の言動や表情を注視、観察することにより本人の意向や思いの把握に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	ご本人やご家族より聴き、またフェイスシートなどの情報により把握している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	生活行動記録・心身の情報シート等で把握しカンファレンスで情報交換している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>ご本人やご家族の希望を聞きケアプランを作成し、相談員を交えサービス担当者会議を開き現状に合った介護計画を作成するように努めている。</p>	<p>介護計画は3か月毎に見直され、関係職員・利用者・家族・で話し合い、医師の意見等を参考にして介護計画の策定を行っている。モニタリングも家族と共に職員が行い、現状に即した最適の介護計画となるよう努められている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>ケアプランの内容に基づいて記録し、カンファレンスノートにて職員間で情報の共有をし、見直しに活かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>御本人やご家族の現状に応じた柔軟な対応が提供出来るように努力している。現在はリハビリを行う方もいる。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>ボランティアの訪問で歌や劇・紙芝居・音楽をまた他部署の行事の参加で楽しんだり近くのコンビニにへ買い物へと支援をしている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>併設病院で受診しており必要であれば協力機関の歯科また、他の医療機関へ受診出来るように対応している。</p>	<p>法人母体の医療機関が入居時にかかりつけ医となり、定期的往診や緊急時の対応が為されている。又、眼科・歯科等については従来からのかかりつけ医に家族の方が対応され、受診結果や医師の指示などの情報は職員と家族間で詳細に共有されている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>毎日看護部長の訪問があり情報を伝え、異常がある時は併設の病院又は外部の病院へ素早く受診している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>併設の病院である場合は日々看護部長の訪問で情報もより詳しく伝える事が出来、外部へは相談員を通して情報交換を再々行ったり不安を持つ利用者様には面会に行きご家族との情報交換が出来る。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>本人様とは日常の会話の中で出来る方には意思の確認を行ったりご家族とはミニ家族会等で再々意思を聴き共有しそれに応じた支援をすることを伝えている。</p>	<p>終末期に向けた対応は、「看取り」まで対応しその準備・対策も講じられると共に多数の看取りを経験されている。その結果、家族からの信頼や感謝の念が職員の諸技術の向上と「人」としての成長に繋がっている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>入居の方の中には急変の可能性がある方が数名居るが新人職員はそれをまだ経験した者が少ない為シュミレーションが必要であり再々話していかなくてはならない。また急変や事故についての勉強を身に付けていくようにしている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>月に1回入居者様も参加し防災訓練を行っている。消防署を交えての訓練はあるが今後地元の人と行えたらと考えている。</p>	<p>法人全体で災害対策が講じられ、マニュアル、ハード面の整備や協力・連携体制も構築されている。年2回の消防署の指導による訓練や毎月の事業所の訓練等を通じて、緊急時に各自の適切な行動が取れる状況にある事が伺えた。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	特に排泄に関わる事は他者に聞こえないように気を付け、汚染があった場合は本人が気になさらないような声かけをし、一人で汚れ物を処理された時は、気づかれないよう部屋から引き取る。また食事中も手で食べられるような事があるとさりげなく介助やご飯をおむすびにする等の配慮を心がけている。	職員の接遇マナー教育が徹底されると共に、人格の尊重やプライバシーの保護に関する意識統一が図られている。人との関わりについては「配慮」を根底にし、職員各位の対応からは、優しさと思いやり・暖かさが感じられる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	おやつ時の飲み物や食事のおかず等希望を聞いたり、入浴もご自分で決めて頂いている。決められない方には日頃の様子を皆で話しながら思いを汲み取れるようにしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	歩行や立位が不安定で様々な危険が伴うため自室へ何度も戻り休まれる方にはマット下にコールを置き音により直ぐに確認できるように過ごして頂いたり、玄関に出られても直ぐに付いて行くのではなく、しばらく様子を見てから声かける等ペースに合わせ支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	だんだん自ら選べる方が減った中、服はこちらが出してあげる方が多い。自ら選んで着られている時は、気候に合わない時は「これもいいですね」と声かけの工夫や、化粧をされている方には「いつもきれいですね」など忘れられないように声かけしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	現在準備を一緒に出来る方は居ないが食事メニューを口にして頂いたり時季の物は特に会話に取り入れたり、目で見て色で楽しんで頂き笑顔で食事が出来るように心がけている。	以前のように利用者と職員で一連の食事の準備が出来なくなり、現在は食材を新鮮で旬の物（家族の方から取れたての野菜が届けられる）から季節を感じ、又一度食物の原型を目で確認したうえで、きざみ・ミキサー食にする等の五感を大切に、種々の会話をしながら食事をされていた。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	体重測定の結果や、また箸に使用が困難になってきたら一口サイズに切ったり、食欲が減ってきたら食べられる量の盛り付けの工夫や逆に食欲のある方には多めにとその方に合わせている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	食後歯磨きの声かけや義歯の方には声をかけてこちらで洗浄を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	汚染につながる方が多い為ほぼ時間による誘導を行い、自ら行かれる方にはこちらから失礼のないように声かけ、失敗のある時はお手伝いをさせて頂いている。留置カテーテルの方も居られるので感染を防ぐ為こまめな処理も心がけている。	トイレでの排泄を基本とし、適切な声掛け・誘導により排泄の自立支援に取り組まれている。又、下半身不随のある利用者の方について、担当医と連携の上りハビリに取り組んだ結果、立ち上がりが可能となると共に尿意を訴えられるようになった事例もある。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	水分補給を意識して行うようにし、野菜ジュースや牛乳など飲んで頂く様にしている。食材も繊維の多い物を摂ってもらうなど工夫している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の場合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	希望があればいつでも入浴できるように準備するが現在は自ら訴えられる方は居られない為、入浴表を見ながら声かけを行っている。拒否の方が多いため1度の声かけでは応じられない時には職員が入れかわり声かけする等工夫をし苦戦することもある。逆に長湯される方がいる為体調変化に注意している。	入浴は自由出来る様な状況となっているが、入浴を拒否される利用者が殆どなので、現況は最低でも週2回入浴して、清潔さを保つ事と会話や身体観察により問題点の発見に努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	日中、合間合間で自由に休まれる方には見守りを、居間でうとうとされている方には声かけし希望があれば自室で横になってもらったりその場所が良いとの希望があれば掛け物をし休んで頂いたり、夜はテレビを見て休まれる方には見守りをしながらその方のペースに合わせている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	薬表を作成し用法や副作用など記入し把握出来るようにしている。状態の変化に気を付け職員間で話し合い変化のある時は医師に相談している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	入居者の方も高齢化し、車椅子や歩行器、老人車又は一人で歩行不可になられた方が多い中、役割も少なくなっている。テレビで野球観戦を楽しまれたり、歌を歌ったり他部署の催し物を見に行ってもらい楽しんで頂き、気分転換に繋げている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	買い物の希望があれば一緒に行き、ご家族にも協力して頂き行きつけの理髪店に出掛ける事もある。	利用者の希望に沿って、コンビニに出かけたり、野球観戦に行き最良の選手・球団の応援に出かける事もある。利用者の多くは、以前のような散歩やドライブに出かける意欲が低下してきているので、職員は運動を兼ねて少しでも外の空気に触れるよう声掛けに努めている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	一人以外自室に所持されているが自ら出して使用されている方は1名である。他は家族管理となっており、外出時は職員に渡され本人に使って頂く様にしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>電話を希望される方はいないがかかって来ると取次ぎ相手と会話を楽しんでいる。年賀状や暑中見舞いは名前の書ける方は書いて頂き出来ない方は職員が状況を書き添えている。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>共同の空間では光・温度・湿度・テレビの音量の調節を行っている。玄関や自室のドアには季節の飾りをして四季の花を玄関先に植えたり花瓶に活け見て頂き、居間の畳には冬にはコタツを出したり、音楽を流し快く出来るように心掛け不快な気持ちにならないように気を付けている。</p>	<p>居間・廊下等の共用空間は広くゆったりとした設計で、利用者・職員共に動き易い構造となっている。特に畳敷きの一角やゆったりとしたソファは季節に応じて寛ぐ事が可能で、さり気なく飾られた利用者の作品（書、俳句、刺繍等）も一服の清涼剤となって心むせぬ雰囲気が感じられる。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>畳やソファ、玄関中のベンチ、外にも休めるベンチ、居間にはソファで、一人でまた利用者様同士で寛げるように過ごせる場所がある。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>居室には馴染みの物を置いて安心して過ごして頂ける様に工夫し、写真やご家族からの手紙や贈り物を飾ったりしている。</p>	<p>ベッド、エアコン、クローゼット及び洗面台は備え付けとなっている。各居室はテレビ、仏壇、机等の使い慣れた物や家族の写真等が持ち込まれ居心地の良い居住環境となっている。当事業所では、入居時に私物を揃えるのではなく、利用者の心情を慮り、希望にそって必要な物を準備するように心掛けられている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>居室のドアやトイレ、風呂場には分かるように表札をかけ、また部屋は引き戸でバリアフリーとなっており安全に自立した生活が送れるように工夫している。</p>		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームひまわり

作成日 平成 26年 10月 14日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	63	御家族へお伝えする時、職員によって違う事がある	職員全員で同じ事を伝えるようにする	(入居者様の状態の把握) ・申し送りをしっかり聞く ・情報交換を的確にする ・カンファレンスノートを見落とさない	1年間
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。